

美術教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
学校教育論	岡谷英明	現代学校の課程を理論的に解明することを目的とする。変貌する社会の中で教育システムがどのように編成されるべきかを考える。
学校経営論	平井貴美代	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。 テキスト使用：『新版 学校教育の基礎知識』（協同出版）
生徒指導論	高柳真人	児童・生徒の自己指導能力を育てながら、その自己実現を援助するというガイダンスの視点に立った生徒指導を進めていくための理論や方法について学ぶ。
学習指導論	馬場園陽一	自ら学ぶ意欲や考える力の育成を目指す授業の方法、一人一人の児童生徒の良さを生かす授業の方法、さらにはこれらの力の育成を目指した教育評価の方法について、その理論的側面を探り、学習指導への実践的なアプローチを試みる。また、新しい学力観のもとで実践されている様々な授業方法（例えば、体験学習、総合学習、問題解決的学習、コース別学習、T・T等）についても紹介し、学力形成との関係を論じる。
教育相談論	金山元春	教育相談は、人間関係の営みの中で行われる実践活動である。本授業では、受講生の人間関係能力の開発を通じて、教育相談の実践力の向上をはかる。具体的には、グループワークを活用し、自己理解、他者理解を深めたり、社会的スキルを学んだりする機会を提供する。講義については、実践経験豊富な研究者あるいは実務家でありながら学会等で活躍されている方の研究成果を上げる。
情報演習Ⅰ	中西 秀男	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的として、コンピュータとソフトウェアの基本操作並びにネットワークの利用方法に関する演習を行う。情報演習Ⅰでは、Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能を中心に基本操作に重点を置いて演習する。
情報演習Ⅱ	赤松 直	ある程度習熟した人を対象に、コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身に付けることを目的として演習を行う。内容は、ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、ホームページ作成、各種ソフトウェアの活用などである。これらを通して、情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考えることにする。自前のノートパソコンを携行願いたい。
美術科教育特論Ⅰ	上野行一	幼児の発生的造形から美術館教育まで、美術教育の現代的意義や課題を、社会の変化と美術の変容、そして教育をめぐるさまざまな問題等を視点として考察する。
美術科教育特論演習Ⅰ	上野行一	美術教育に関する問題意識を焦点化し、特定のテーマについて掘り下げ、調査研究、制作研究等をおこなう。
美術科教育特論Ⅱ	金子宜正	今日の美術工芸科教育における基本理念について、著名な教育活動をもとに考察する。我が国及びドイツの造形教育に焦点をあて、教材および指導法について論文の構造に触れながら、講義する。
美術科教育特論演習Ⅱ	金子宜正	美術科教育特論Ⅱの内容をふまえ、文献や報告書を使いながら研究を深めるとともに、各自のテーマを発展させるための研究方法を修得する。
絵画特別研究Ⅰ	土井原崇浩	作品制作の基礎となるデッサンの習得。立体感、質感、存在感、空間感を表現し、さらに感性のある美しい作品を目指す。構図法を過去の資料を参考にし、身につける。

美術教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
絵画特別演習Ⅰ	土井原 崇浩	「絵画特別研究Ⅰ」を踏まえ、ヨーロッパ絵画における技法と材料を熟知し造形力を身につける。古典技法の羽根ペンと没食子インクによるデッサンも行う。
絵画特別研究Ⅱ	別府道雄	主として日本及び東洋に伝わる絵画制作の伝統の上に立ち、諸技法の習得と用具、用材の理解に努め、新しい絵画表現の開拓を追求する。
絵画特別演習Ⅱ	別府道雄	「絵画特別研究Ⅱ」の研究をふまえ、制作を中心にその応用と展開をはかる。
工芸特別研究Ⅰ	石川充宏	工芸素材としての金属を中心に、その特質を科学的に分析した上で、鍛金・鍍金・彫金の各技法を講義を通して習得し、金属造形作品を研究する。
工芸特別演習Ⅰ	石川充宏	「工芸特別研究Ⅰ」の研究をふまえ、制作を中心にその応用と展開をはかる。
工芸特別研究Ⅱ	吉光誠之	木材工芸の諸領域（指物、割物、挽物等）の各技法、研究、ならびに日本文化における「木」をキーワードとした研究をおこなう。
工芸特別演習Ⅱ	吉光誠之	「工芸特別研究Ⅱ」をふまえ、作品を制作する事等でさらに研究を深める。
西洋美術史特論	駒田亜紀子	美術史研究における主要な方法論（技法論、様式論、図像学、その他）について学び、対象となる美術作品に適した問題設定の仕方を研究する。
西洋美術史特論演習	駒田亜紀子	各学生の専門分野に関連の深い西洋美術史上の作品を取り上げ、作品の様式、図像ならびに技法上の特質や、同時代の関連作品との比較を通じて、作品の美術史上の位置付けについて考察する。
美術科教育実践研究Ⅰ	上野・金子	美術科教育に関する附属校園等での授業研究を基に、美術教育の分野としての、絵画、彫刻、デザイン、工作・工芸、鑑賞の教材、指導法について、理論的に研究することを指導する。
美術科教育実践研究Ⅱ	石川・別府・吉光・駒田・土井原	美術科教育に関する附属校園等での授業の観察・記録・参加を基に、美術科教育の分野としての、絵画、彫刻、デザイン、工作・工芸、鑑賞の教材開発について、実証的に研究することを指導する。

美術教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
美術科教育実践研究Ⅰ(長期インターンシップ)	上野・金子・石川・別府・吉光・駒田・土井原	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。
美術科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)	上野・金子・石川・別府・吉光・駒田・土井原	各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集および分析等の諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展させていくよう指導する。